

VPCC 4.2 + XenDesktop 5.6 Feature Pack 1 VPCC+XD (CMO 連携あり)

セットアップガイド

—第 1 版—

改版履歴

版数	発行日	内容
第1版	2012/09/30	新規作成

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

Citrix、XenDesktop、Citrix Receiver、ICA は Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、SQL Server、Windows PowerShell は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VMware は VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter は日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本ドキュメントに記載されている社名や製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記していません。

目次

はじめに	1
1. 用語の説明	2
2. システム要件	3
3. 事前準備	6
4. XenDesktopコンポーネントのインストール	8
5. ライセンスサーバーの設定	11
6. Controllerの初期設定	14
7. VPCC-XD Connectorのインストール	19
7.1. VPCC-XD Connector Webサイトと対応クライアントについて	19
7.2. VPCC-XD ConnectorをインストールするWebサイトを準備する	21
7.2.1. VPCC-XD Connectorが動作するApplication Poolの設定	21
7.2.2. XdcWIをインストールするWebサイトを作成する	23
7.2.3. XdcPNAをインストールするServicesサイトを作成する	29
7.2.4. XdcPNAforMobileをインストールするServicesサイトを作成する	33
7.3. VPCC-XD Connectorをインストールする	34
7.4. VPCC-XD Connectorの初期設定	37
7.5. XenDesktop 5.5から5.6へのアップグレード時の再インストール	39
8. 仮想デスクトップコンポーネントのインストール	40
9. Desktop Studioの管理	45
9.1. ライセンスサーバーの変更	45
9.2. 管理者の追加	47
10. セットアップ完了後の操作	49
10.1. フェイルオーバーポリシーの設定について	49
11. Web Interfaceの設定	52
12. クライアントから仮想デスクトップに接続する	53
13. 制限事項	55
13.1. 参考情報	55

はじめに

対象読者と目的

「VPCC 4.2 + XenDesktop 5.6 Feature Pack 1 VPCC+XD (CMO 連携あり) セットアップガイド」は、Citrix XenDesktop 5.6 Feature Pack 1 (以下、XenDesktop)のセットアップ、VPCC-XD Connector 4.0 (以下、VPCC-XD Connector)のセットアップ、運用操作を行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

また、本書は VirtualPCCenter (以下、VPCC)環境に XenDesktop および VPCC-XD Connector コンポーネントを構築する手順として記載しております。

このため、本書にしたがって XenDesktop および VPCC-XD Connector を構築する前に、VPCC 環境を用意いただく必要があります。

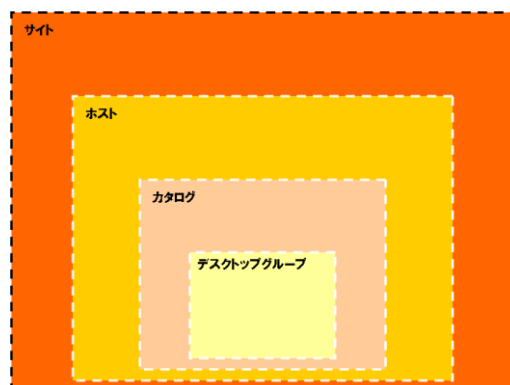
VPCC 環境の構築につきましては、以下のドキュメントを参照のうえ、事前にご準備ください。

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.2 構築手順書」

1. 用語の説明

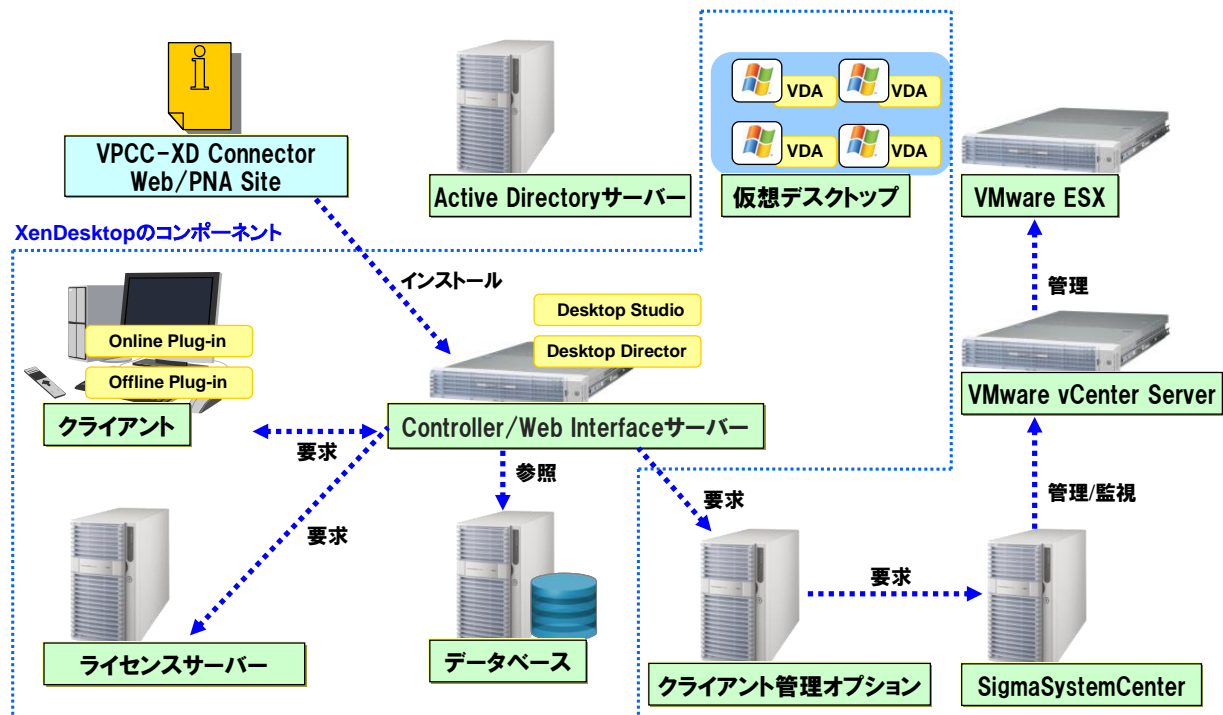
本章では、本書に使用する用語について説明します。

Controller (XenDesktop 4 での Desktop Delivery Controller)
Virtual Desktop Agent (以下、VDA)の状況を監視し、ユーザーからの接続要求があった際に適切な VDA を選択します。 また、VDA が動作する仮想マシンの電源制御は仮想基盤を介して行います。
Desktop Studio
デスクトップグループの作成、テスト、アップデートを 1 ヶ所で展開し、運用管理するコンソールです。
Virtual Desktop Agent (VDA)
仮想デスクトップ上にインストールするエージェントで、クライアント OS に対して ICA 画面転送セッションで遠隔操作するためのネットワークサービスです。
サイト (XenDesktop 4 でのファーム)
Controller、VDA の集まりです。 サイトではライセンス情報やデータベース情報を管理します。
ホスト
ホストは、ストレージを含めた仮想インフラストラクチャを管理する単位です。
カタログ
XenDesktop では「マシン」とも呼ばれます。 単一のエンティティとして管理されるユーザーデスクトップの集まりです。 カタログは、ユーザーのデスクトップ、仮想マシンまたは物理マシンに割り当てられた Active Directory コンピューターアカウントを指します。
デスクトップグループ
XenDesktop では「ユーザー割り当て」とも呼ばれます。 ユーザーに対するアクセス権を設定する単位です。 デスクトップグループでは、カタログを指定して接続可能なユーザーを設定します。
VPCC-XD Connector Web Interface (XdcWI)
Web ブラウザからアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Web サイトです。
VPCC-XD Connector PNA (XdcPNA)
Citrix Receiver からアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Services サイトです。
VPCC-XD Connector PNA for Mobile (XdcPNAforMobile)
Citrix Receiver からアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Services サイトです。
VPCC-XD Connector 自動接続機能
XdcWI で提供する機能です。 ユーザーが XdcWI にログインした際、利用可能なデスクトップグループが 1 つだけの場合に、自動で ICA 接続を開始します。



2. システム要件

本章では、VPCC-XD Connector に必要なコンポーネントの説明と、それぞれのシステム要件を記載します。



XenDesktop コンポーネントの説明

Controller / Web Interface サーバー
ユーザーを認証し、ユーザーのデスクトップ環境の構成を管理し、ユーザーと仮想デスクトップとの接続を仲介します。
データベース
XenDesktop サイトの静的なデータを管理します。 通常は Controller のサーバーに作成されますが、外部のデータベースを利用することも可能です。
Citrix ライセンスサーバー
Citrix 製品のライセンスを管理するコンポーネントです。
仮想デスクトップ
クライアントに配信する仮想 OS を指します。 仮想デスクトップには、VDA をインストールします。
クライアント
Controller / Web Interface を介して仮想デスクトップに接続するエンドユーザー端末を指します。

VPCC-XD Connector Web / PNA Site

XenDesktop の Web Interface にインストールする VPCC-XD Connector コンポーネントです。
クライアント管理オプションとの連携を実現し、ユーザーに対して VPCC 上で利用可能な仮想デスクトップとの接続を仲介します。

XenDesktop コンポーネントのシステム要件

Controller / Web Interface サーバー		
OS	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows Server 2008 Standard または Enterprise Edition Service Pack 2 (32 ビット/64 ビット) • Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard または Enterprise Edition (64 ビット) • Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard または Enterprise Edition Service Pack 1 (64 ビット) 	
OS コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft .NET Framework 3.5 with Service Pack 1 • Internet Information Services <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft IIS Version 7.0 (Windows Server 2008) - Microsoft IIS Version 7.5 (Windows Server 2008 R2) • Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージ Second Edition • Microsoft Visual C++ 2008 Service Pack 1 再頒布可能パッケージ • Microsoft Windows PowerShell version 2.0 • Internet Explorer 8 または 9 	
ディスク容量	Controller と SDK	100MB
	Desktop Studio	50MB
	ライセンスコンポーネント	40MB
	Web Interface	100MB
	VPCC-XD Connector	15MB

データベース	
Controller では、サイトデータベースとして次のデータベースを使用できます。	
Microsoft SQL Server	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SQL Server 2008 R2 • Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition (自動でインストールされる) • Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 2 • Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 3 • Microsoft SQL Server 2008 Express Edition Service Pack 1

Citrix ライセンスサーバー		
バージョン	・ Citrix ライセンス 11.10	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2003 ファミリー ・ Windows Server 2008 ファミリー ・ Windows Server 2008 R2 ファミリー ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) 	
OS コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft .NET Framework 3.5 ・ Internet Explorer 6～9 	
ディスク容量	ライセンスコンポーネント	50MB
	ユーザー/デバイスライセンス	2GB
注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ Citrix ライセンスサーバーは、マルチホームサーバー(複数のネットワークカードで異なるネットワークに接続するサーバー)上で使用することはできません。 ・ Windows 2003 を Citrix ライセンスサーバーとする場合、以下の更新プログラムをインストールしておく必要があります。 <p>- Windows Server 2003 用セキュリティ更新プログラム (KB956572)</p>	

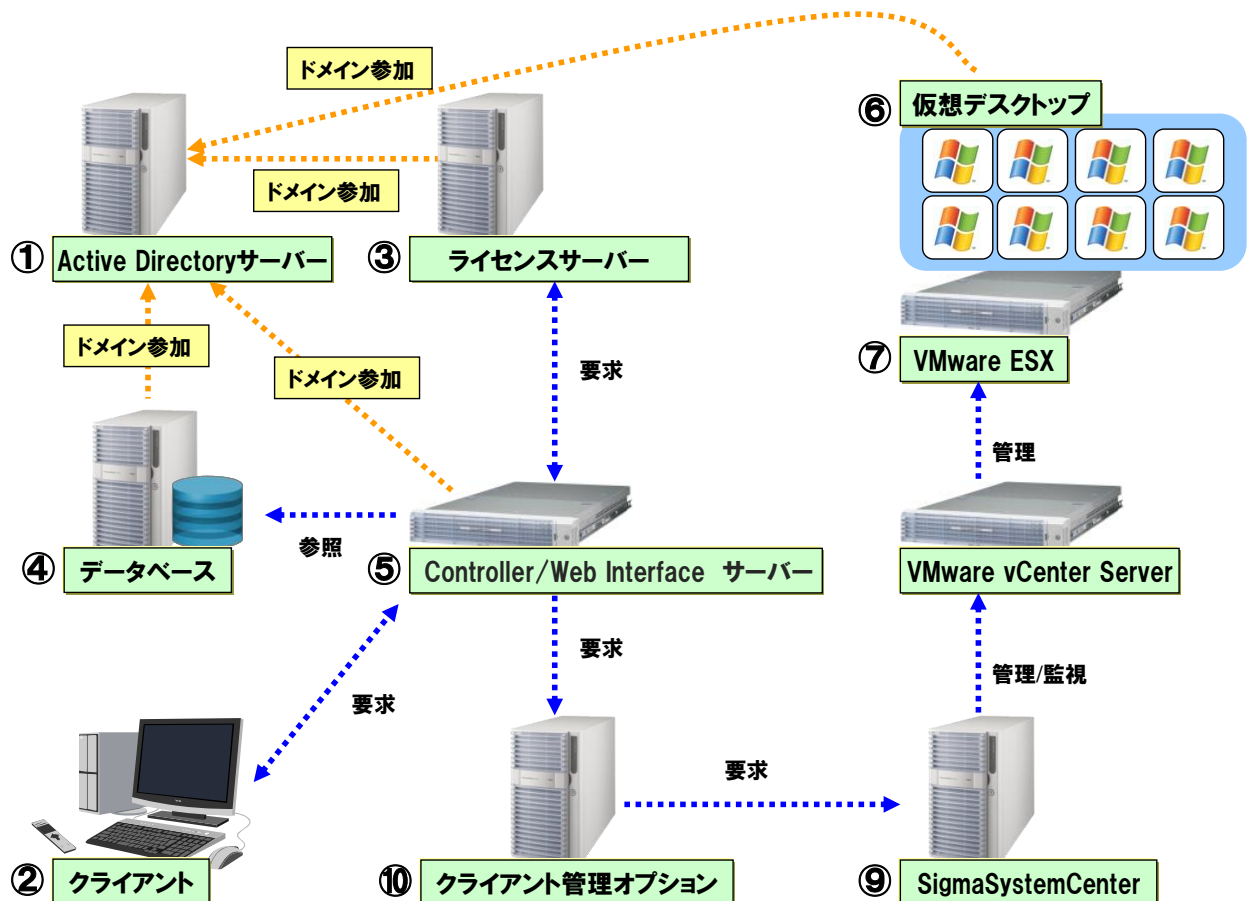
仮想デスクトップ	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット) ・ Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット)
注意	Windows 7, Vista をご利用の際は、TCP/445 のポートをあらかじめ開放してください。ポートを開放していない仮想デスクトップには接続できませんのでご注意ください。

クライアント	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット) ・ Windows XP Service Pack 2 以降 (64 ビット) ・ Citrix Receiver for Windows 3.3 以上を搭載した専用端末
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorer 7、8 ・ Firefox 3.6 – 4.0
端末	<ul style="list-style-type: none"> ・ LifeTouch (Citrix Receiver for Android) ・ iPhone (Citrix Receiver for iOS) ・ iPad (Citrix Receiver for iOS)

※ VMware ESX、VMware vCenter、SigmaSystemCenter、クライアント管理オプションについては、VPCC 4.2 の要件にしたがってください。

3. 事前準備

本章では、セットアップ前の事前準備について記載します。



①Active Directory サーバー
<p>Active Directory は XenDesktop で必要です。 (XenDesktop 専用の Active Directory が必要ということではありませんので、既存の Active Directory が存在する場合は新規に作成する必要はありません。) Controller はドメインコントローラー上にインストールできません。</p>
②クライアント端末
<p>前述のシステム要件に応じたクライアント端末を用意します。 Active Directory ドメインに参加する必要はありません。</p>
③Citrix ライセンスサーバー
<p>前述のシステム要件に応じた Windows OS を用意します。 Citrix ライセンスサーバーとして専用のサーバーは不要です。Controller サーバーなどにインストールしても構いません。Citrix ライセンスサーバーを別立てする場合は、コンポーネントをインストールする前に Active Directory ドメインに参加させる必要があります。</p> <p>なお、XenDesktop のご利用に当たっては、<u>事前に Citrix 製品ライセンスファイルの取得が必要となります。</u> Citrix 社サイト eDocs を参照いただき、製品のライセンスファイルを作成、ダウンロードしてください。 ・Citrix Product Documentation Library (eDocs) http://support.citrix.com/proddocs/topic/licensing-1110/nl/ja/lic-install-license-files.html?locale=ja</p>
④データベース
<p>⑤の Controller をインストールしたサーバー上に作成することも可能です。 別サーバー上にデータベースを作成する場合は、Controller サーバーが参加する Active Directory ドメインに参加した後で必要なコンポーネントをインストールします。</p>
⑤Controller / Web Interface サーバー
<p>前述のシステム要件に応じた Windows OS を用意します。 あらかじめ Active Directory ドメインに参加した後、必要なコンポーネントをインストールしておきます。 Controller / Web Interface は同一サーバー内にインストールしてください。 Controller はドメインコントローラー上にインストールできません。</p>
⑥仮想デスクトップ
<p>仮想マシンインフラストラクチャ(VMware)上に、仮想デスクトップ用の仮想マシンを用意します。 これらの仮想マシンは Active Directory ドメインに参加させます。 仮想デスクトップとして利用するために、これらの仮想マシンには仮想デスクトップコンポーネント(VDA)をインストールします。 仮想デスクトップコンポーネントをインストールした仮想デスクトップは、SigmaSystemCenter を用いてテンプレート化しておくことで、以降の仮想 PC 展開を容易にできます。</p>
⑦VMware ESX
⑧VMware vCenter Server
⑨SigmaSystemCenter (以下、SSC)
⑩クライアント管理オプション
<p>以下の手順書にしたがって、事前に VPCC 環境を構築してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.2 構築手順書」</p>

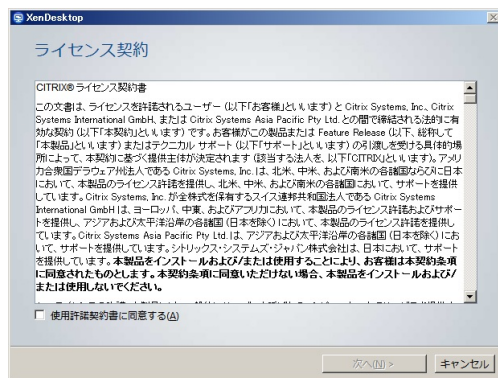
4. XenDesktop コンポーネントのインストール

本章では、XenDesktop コンポーネントのインストール手順について記載します。

1. Citrix XenDesktop のメディアを DVD ドライブに挿入するか、ダウンロードしたインストールイメージファイル(iso ファイル)をマウントします。
2. 自動的に XenDesktop コンポーネントのセットアップ画面が起動します。
画面が表示されるまでに、時間を要する場合があります。
[XenDesktop のインストール]をクリックします。



3. 「ライセンス契約」画面が表示されます。
[使用許諾契約書に同意する]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



4. 「インストールするコンポーネントの選択」画面が表示されます。
一覧に表示されるコンポーネントから、必要なコンポーネントにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

既存の Citrix ライセンスサーバーをご利用の場合や、既存のサイトに参加する Controller をインストールする場合は、[ライセンスサーバー]のチェックを外してください。

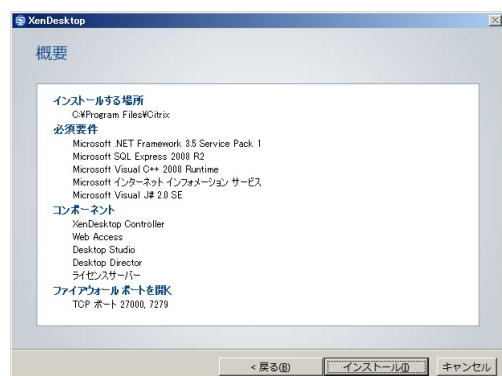
Citrix ライセンスサーバーのみをインストールする場合は[ライセンスサーバー]のみを選択し、[次へ]をクリックします。



5. 「ファイアウォール構成」画面が表示されます。
[これらのポートを有効にする]にチェックを入れた状態で[次へ]をクリックします。



6. 「概要」画面が表示されます。
[インストール]をクリックします。

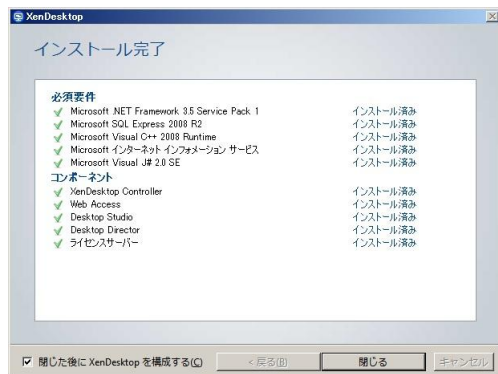


選択したコンポーネントと必要なソフトウェアがインストールされます。



7. 「インストール完了」画面が表示されます。

[閉じた後に XenDesktop を構築する]にチェックを入れた状態で、[閉じる]をクリックします。



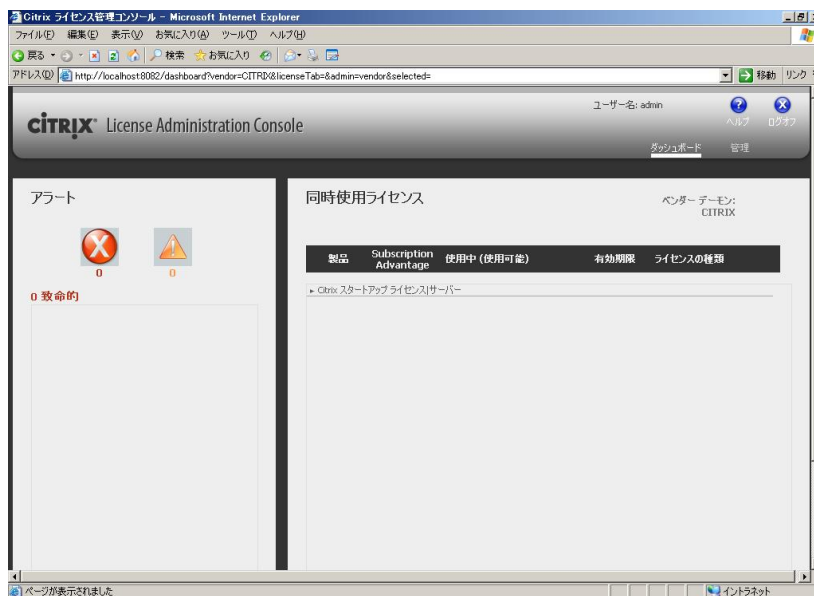
以上で、XenDesktop コンポーネントのインストールは完了です。

5. ライセンスサーバーの設定

本章では、Citrix ライセンスサーバーの設定方法について記載します。

XenDesktop コンポーネントのインストール完了後に、[スタート]→[プログラム]([すべてのプログラム])→[Citrix]→[管理コンソール]→[ライセンス管理コンソール]から[Citrix ライセンス管理コンソール]を起動します。

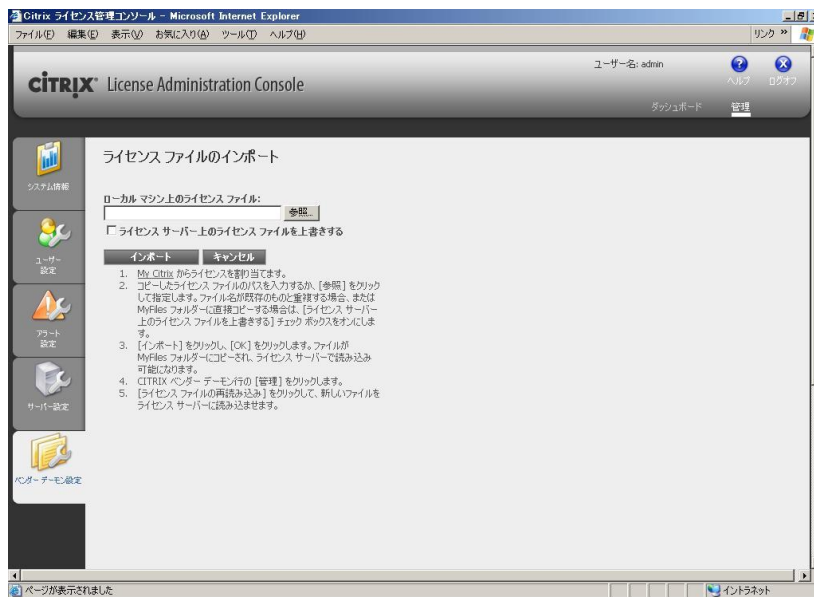
1. 「Citrix ライセンス管理コンソール」が表示されます。
画面右上の「管理」をクリックします。



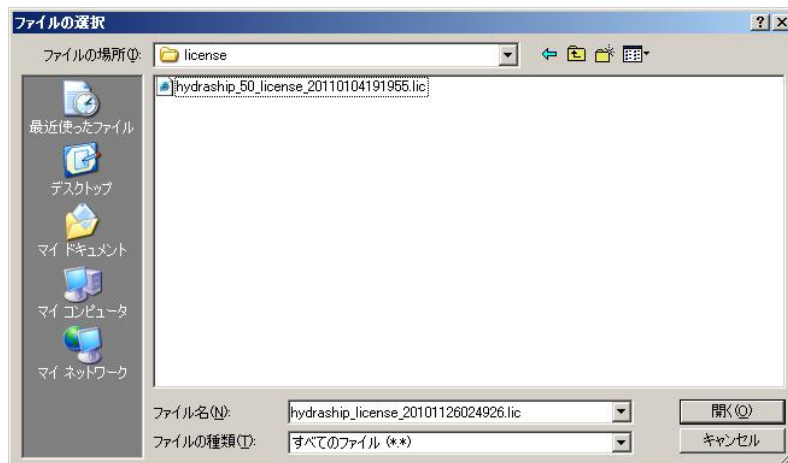
2. 画面左側のタブから、「ベンダーデーモン設定」をクリックします。



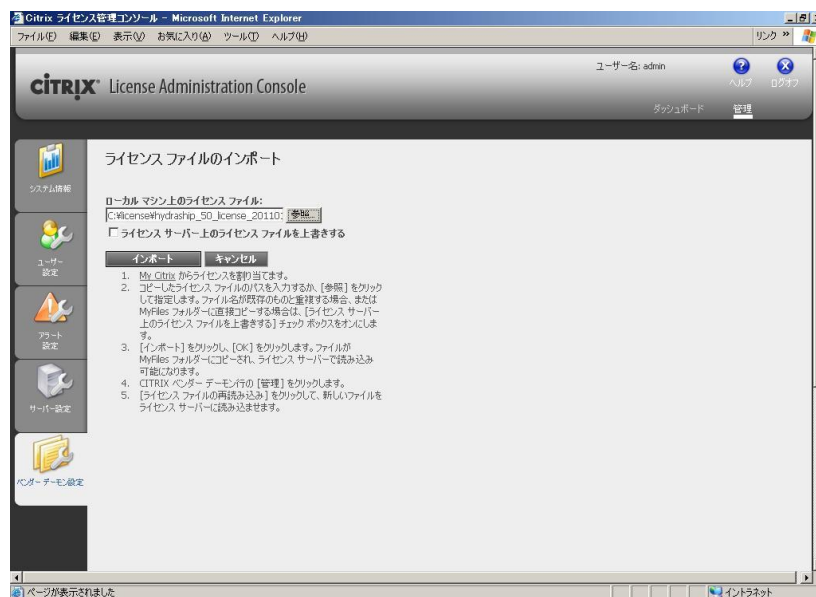
3. 「ライセンスファイルのインポート」画面が表示されます。
[参照] をクリックします。



4. 「ファイルの選択」画面が表示されます。
XenDesktop のライセンスファイルを指定して、[開く] をクリックします。



5. 「ライセンスファイルのインポート」画面に戻ります。
[インポート] をクリックします。



6. 画面右上の「ダッシュボード」をクリックして、インポートしたライセンスファイルが登録されていることを確認します。



以上で、Citrix ライセンスサーバーの設定は完了です。

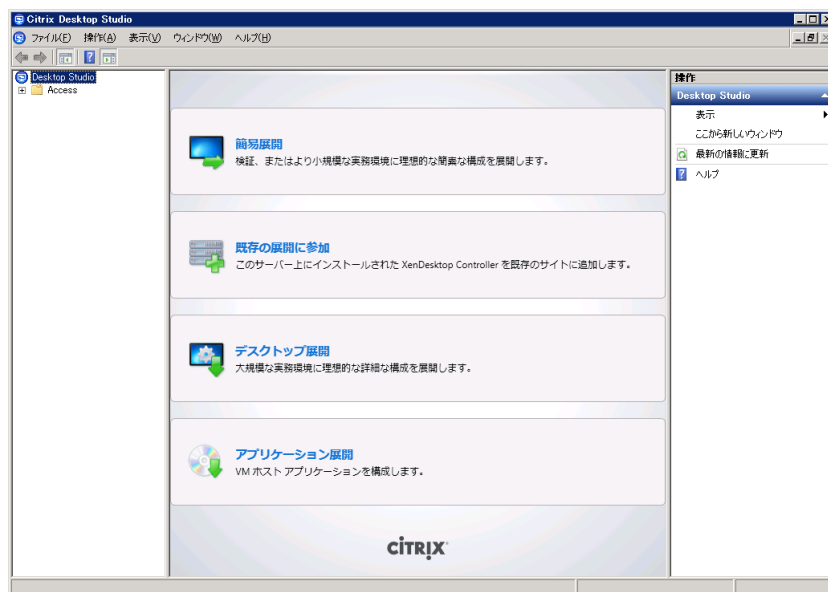
6. Controller の初期設定

本章では、Controller の管理 GUI である Desktop Studio における Controller の初期設定について記載します。

XenDesktop コンポーネントのインストール時の[インストール完了] 画面にて [閉じた後に XenDesktop を構築する] にチェックを入れて、[閉じる] をクリックすると Desktop Studio が自動的に起動されます。

手動で起動する場合は、[スタート]→[プログラム]([すべてのプログラム])→[Citrix]→[Desktop Studio] から起動可能です。

1. 「Citrix Desktop Studio」画面が表示されます。
[デスクトップ展開]をクリックします。



以下に、各展開方法について記載します。

簡易展開

→ XenDesktop を最も早く準備する展開方法です。

簡易展開についての詳細は、Citrix 社サイトを参照ください。

- ・ Citrix 社 Product Documentation Library

<http://support.citrix.com/proddocs/topic/xendesktop-rho/nl/ja/cds-quick-deploy-rho.html?locale=ja>

→(左ペインの)XenDesktop → XenDesktop5 → 簡易展開

簡易展開は、あらかじめ決められた条件下での展開を行なうため、前提条件が多く、通常導入いただく環境で使用することは推奨しません。

既存の展開に参加

→ 既存のサイトに Controller を追加する場合に使用します。

[既存の展開に参加]をクリックすると、[XenDesktop サイトの選択]画面が表示されます。

追加先の Controller のアドレスを入力し、[OK]をクリックすることで Controller を既存のサイトに追加することが可能です。

[事前準備]

- ・ 追加先 Controller サーバーの"SQL Server Browser"サービスを開始しておく必要があります。
- ・ 追加先 Controller サーバーの Windows ファイアウォール(ドメインネットワーク)を無効にする必要があります。

デスクトップ展開

→ XenDesktop の構成を詳細に設定することができます。

※ 本章では、[デスクトップ展開]を使用した手順を記載します。

2. [デスクトップ展開 - サイト]画面が表示されます。

必要な入力事項について、以下に説明します。

サイト

→ サイト名(任意)を入力します。

データベース構成

→ [デフォルトのデータベースを使用する]を選択すると、ローカルにインストールされている SQL Express にデータベースを作成します。

→ 既存のデータベースを使用する場合は、[既存のデータベースを使用する]を選択します。

[サーバーの場所]は、DNS 名、NetBIOS 名、または IP アドレスを入力します。

[データベース名]では、使用するデータベース名を入力し[接続テスト]をクリックします。

[接続テスト]で問題がなければ[作成]をクリックして、XenDesktop 構成に必要なスクリプトを実行します。

※ 本章は、[デフォルトのデータベースを使用する]を選択した手順を記載します。

必要な事項を入力した後、[次へ]をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。

[OK]をクリックして、XenDesktop 構成に必要なデータベースを作成します。



3. [デスクトップ展開 - ライセンス]画面が表示されます。

必要な入力事項について、以下に説明します。

ライセンスサーバー

→ 既存の Citrix ライセンスサーバー(外部のライセンスサーバ)を指定する場合は、[ライセンスサーバー]に「名前:ポート番号」を入力し、「接続」をクリックします。(例:「license-srv:27000」)

名前 → DNS、NetBIOS、もしくは IP アドレスを入力します。

ポート番号 → 変更していなければデフォルトの「27000」を入力します。

エディション・モデル

→ ご購入いただいている Citrix 製品ライセンスのエディションおよびライセンスモデルを選択します。

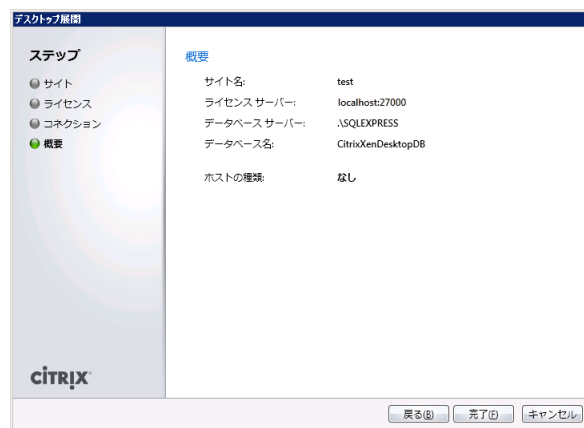
4. [デスクトップ展開 - コネクション]画面が表示されます。

必要な入力事項について、以下に説明します。

ホストの種類

→ "なし"を選択します。

5. [デスクトップ展開 - 概要]画面が表示されます。
[完了]をクリックします。



以上で、Controller の初期設定は完了です。

7. VPCC-XD Connector のインストール

本章では、Web および Services サイトで利用可能なクライアント、VPCC-XD Connector のインストール方法および初期設定について記載します。

7.1. VPCC-XD Connector Web サイトと対応クライアントについて

VPCC-XD Connector で提供する Web および Services サイトと接続可能なクライアントについて以下に記載します。

XdcWI

- ・説明
Web ブラウザから接続するための Web サイトです。
- ・対応クライアント
以下の OS と Web ブラウザの組み合わせで利用可能です。
OS
Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット)
Windows 7 (32 ビット/64 ビット)
Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット/64 ビット)
Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット)
Windows XP Service Pack 2 以降 (64 ビット)
Web ブラウザ
Internet Explorer 7, 8
Firefox 3.6 - 4.0

XdcPNA

- ・説明
Citrix Receiver から接続するための Services サイトです。
- ・対応クライアント
以下の OS とクライアントアプリケーションの組み合わせで利用可能です。
OS
Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット)
Windows 7 (32 ビット/64 ビット)
Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット/64 ビット)
Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット)
Windows XP Service Pack 2 以降 (64 ビット)
クライアントアプリケーション
Citrix Receiver for Windows 3.3 (Online Plug-in 13.3)

また、以下の端末も利用可能です。

Citrix Receiver for Windows CE 11.0 以上を搭載した専用端末

XdcPNAforMobile

- ・説明

Citrix Receiver から接続するための Services サイトです。

- ・対応クライアント

以下の端末とクライアントアプリケーションの組み合わせで利用可能です。

端末	クライアントアプリケーション
LifeTouch	Citrix Receiver for Android
iPad	Citrix Receiver for iOS
iPhone	Citrix Receiver for iOS

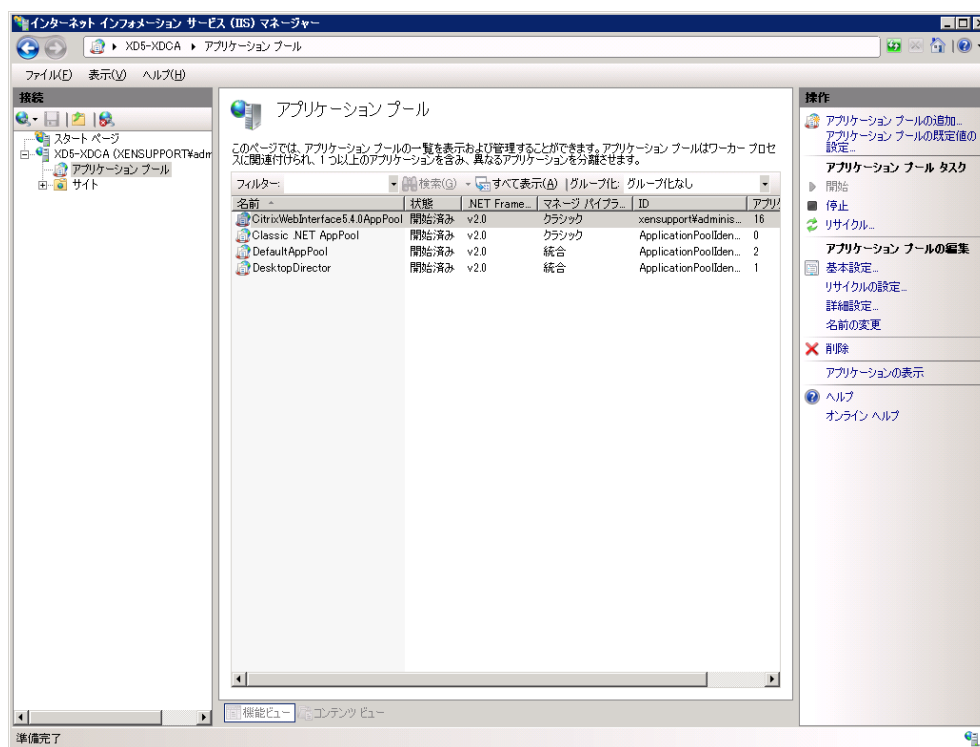
7.2. VPCC-XD Connector をインストールする Web サイトを準備する

7.2.1. VPCC-XD Connector が動作する Application Pool の設定

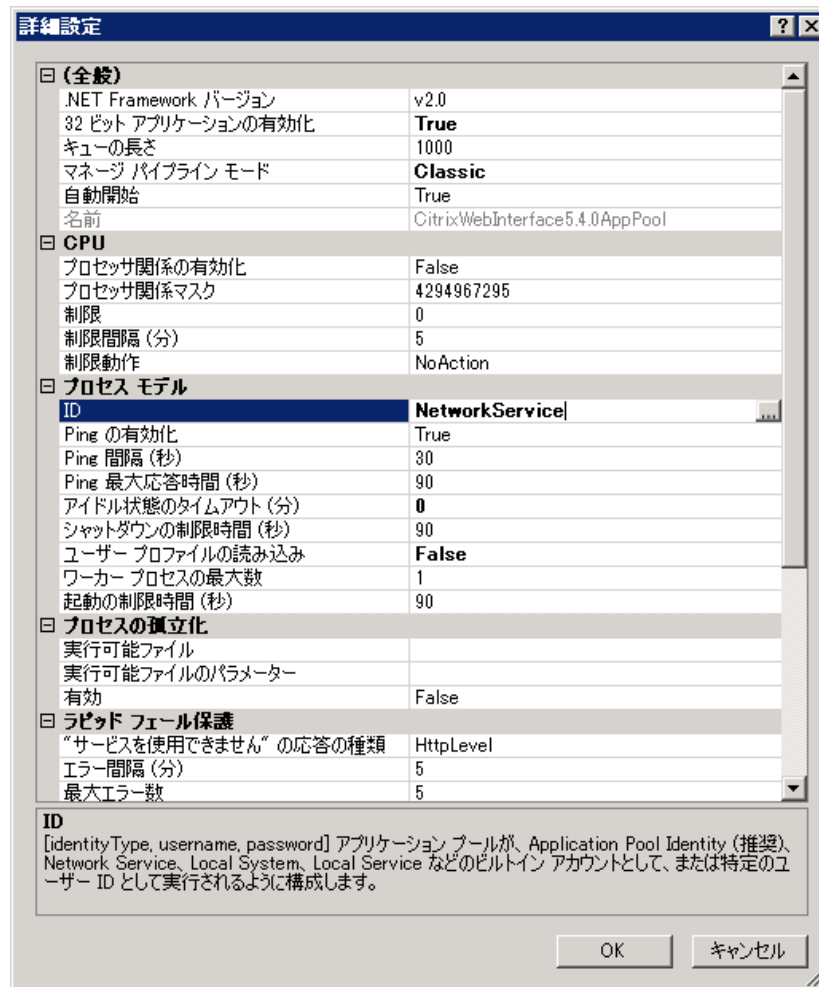
VPCC-XD Connector が動作する Application Pool の設定を行ないます。

設定はインターネットインフォメーションサービス(以降 IIS)マネージャー上で以下の手順で設定します。

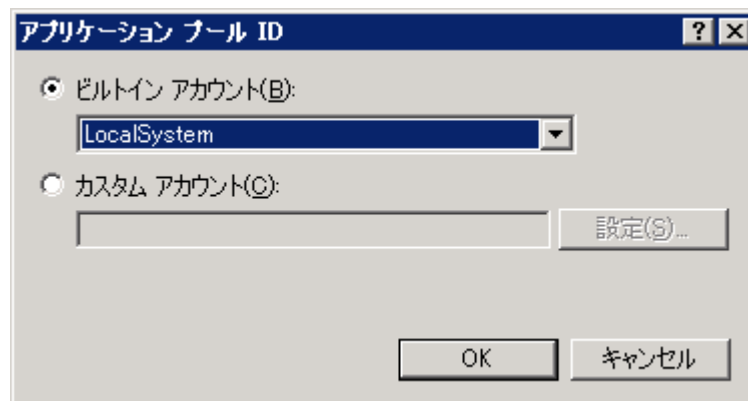
1. Windows メニューから[プログラム]([すべてのプログラム])をクリックし、[管理ツール]をクリックしてください。
[IIS マネージャー]をクリックします。
2. IIS マネージャーが起動します。
[サーバー名]のツリーを展開し、[アプリケーションプール]をクリックしてください。
アプリケーションプールの中から[CitrixWebInterface5.4.0AppPool]をクリックして選択します。
[アプリケーションプールの編集]から[詳細設定...]をクリックしてください。



3. [詳細設定]ダイアログが開きます。
[プロセス モデル]の ID を選択してください。



4. [アプリケーション プール ID]ダイアログが開きます。
ビルドイン アカウントの中から[LocalSystem]を選択し、[OK]をクリックしてください。
[詳細設定ダイアログ]に戻ります。[OK]をクリックしてください。



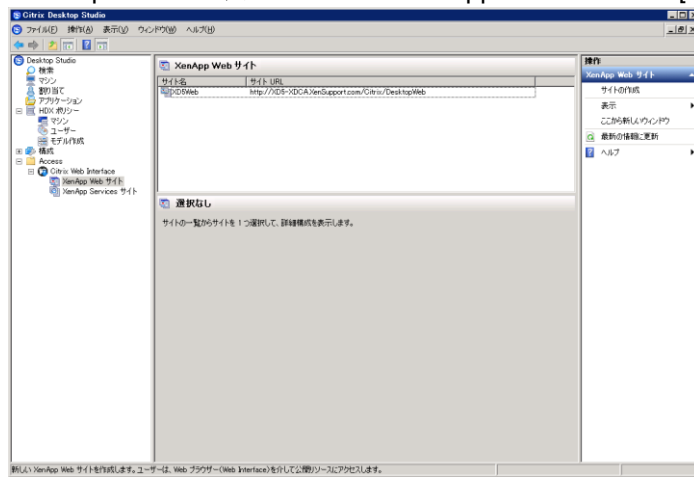
以上でApplication Poolの設定は完了です。
次にXdcWIをインストールするWebサイトの作成方法について記載します。

7.2.2. XdcWI をインストールする Web サイトを作成する

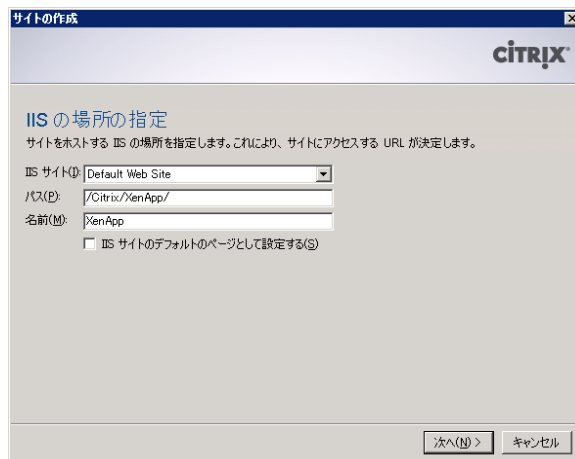
Desktop Studio の Access タブをクリックし、XenApp Web サイトをクリックします。
表示されている XenApp Web サイトを確認します。
作成済みの Web サイトに XdcWI をインストールする場合は、Web サイトを作成する必要はありません。
[7.2.3]節に進んでください。

XdcWI をインストールする Web サイトを新規作成する場合は以下の手順で作成します。

1. Desktop Studio に表示されている XenApp Web サイトから[サイトの作成]をクリックします。



2. [サイトの作成 - IIS の場所の指定]画面が表示されます。
[パス]に Web サイトのパスを入力し、[次へ]をクリックしてください。

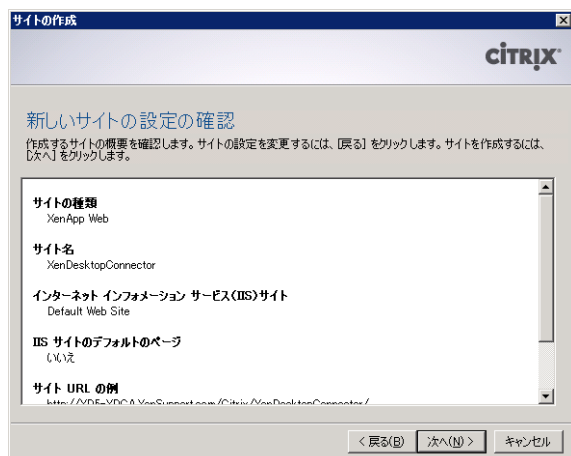


※ パスを入力すると[名前]は自動で入力されるので入力の必要はありません。

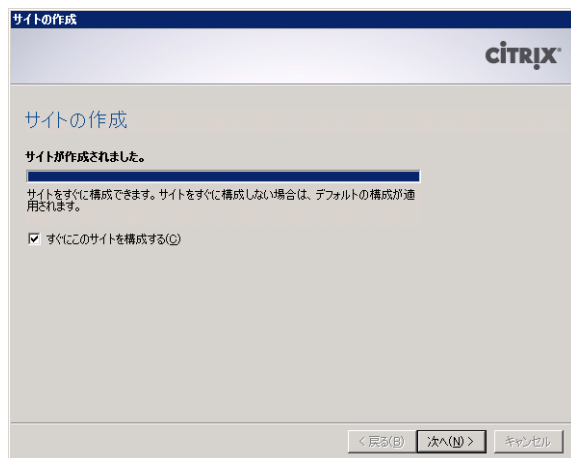
3. [サイトの作成 - 認証のポイントの指定]画面が表示されます。
[次へ]をクリックしてください。



4. [サイトの作成 - 新しいサイトの設定の確認]画面が表示されます。
設定内容を確認して[次へ]をクリックしてください。



5. [サイトの作成 - サイトの作成]画面が表示されます。
[すぐにこのサイトを構成する]にチェックが入っているのを確認して、[次へ]をクリックしてください。



6. [初期構成の指定 - サーバーファームの指定]画面が表示されます。
[追加]をクリックしてください。

初期構成の指定 - XenDesktopConnector

CITRIX

サーバーファームの指定

Web Interface がユーザーにリソースを表示するサーバーファームの詳細を指定します。サーバーファームの管理タスクを使用して初期構成を実行したあとに、設定を更新できます。

ファーム名(N): Farm1

サーバー(FQDNオーバーラップ)(S):

上へ移動(U)

下へ移動(D)

追加(A) 編集(E) 削除(R)

XML Service ポート(P): 80

トランスポートタイプ(T): HTTP

SSL Relay ポート(P): 443

次へ(N) > キャンセル

7. [サーバーの追加]ダイアログが表示されます。
[サーバー名]に Controller がインストールされているサーバーのホスト名を入力して[OK]をクリックしてください。
ダイアログが閉じたら、[次へ]をクリックしてください。

初期構成の指定 - XenDesktopConnector

CITRIX

サーバーファームの指定

Web Interface がユーザーにリソースを表示するサーバーファームの詳細を指定します。サーバーファームの管理タスクを使用して初期構成を実行したあとに、設定を更新できます。

ファーム名(N): Farm1

サーバー(FQDNオーバーラップ)(S):

上へ移動(U)

下へ移動(D)

追加(A) 編集(E) 削除(R)

XML Service ポート(P): 80

トランスポートタイプ(T): HTTP

SSL Relay ポート(P): 443

次へ(N) > キャンセル

サーバーの追加

サーバー名(S): localhost

OK キャンセル

8. [初期構成の指定 - 認証方法の構成]画面が表示されます。
利用する認証方法を選択して、[次へ]をクリックしてください。

初期構成の指定 - XenDesktopConnector

CITRIX

認証方法の構成

リソースへアクセスするためにログインする場合のユーザー認証方法を指定します。これらの認証方法の一部には、正常に実行する前にシステムの追加構成が必要な場合があります。[\[注記\]](#)

認証方法(1つ以上を選択):

- ☒ 指定ユーザーとしてログイン(E)
- ☐ パスワード認証(S)
- ☐ スマートカード/パスワード認証(U)
- ☐ スマートカード(M)
- ☐ 匿名ユーザーとしてログイン*(U)

* この認証方法は、XenDesktop ではサポートされていません。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9. [初期構成の指定 - ドメインの制限]画面が表示されます。
アクセスを制限したいドメインがない場合は、[すべてのドメインを許可する]が選択されていることを確認してください。
アクセスを制限したいドメインが存在する場合は、[次のドメインを制限する]を選択します。
[追加]をクリックし、アクセスを制限するドメインを追加してください。
設定が完了したら、[次へ]をクリックしてください。

初期構成の指定 - XenDesktopConnector

CITRIX

ドメインの制限

選択したドメインのユーザーへのアクセスを制限します。認証方法の構成タスクにより、初期設定後に設定を変更できます。

☒ すべてのドメインを許可する(A)

☐ 次のドメインを制限する(S):

ドメインの一覧(M)

追加(D)... 編集(C)... 削除(V)

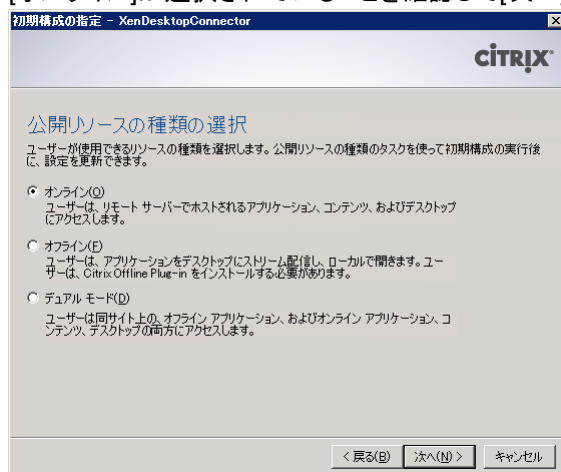
注: ユーザーは、ログイン画面の [ドメイン] ボックスにドメイン名を入力する必要があります。ドメイン ユーザー名および UPN 形式ログインが有効になります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. [初期構成の指定 - ログオン画面の外観の指定]画面が表示されます。
ログオン画面に設定ボタンを含むナビゲーションバーを表示させたい場合は、[完全]を選択してください。
設定が完了したら、[次へ]をクリックしてください。



11. [初期構成の指定 - 公開リソースの種類の選択]画面が表示されます。
[オンライン]が選択されていることを確認して[次へ]をクリックしてください。



12. [初期構成の指定 - 設定の確認]画面が表示されます。
設定した項目を確認して[完了]をクリックしてください。



次は XdcPNA をインストールする Services サイトの作成方法について記載します。

7.2.3. XdcPNA をインストールする Services サイトを作成する

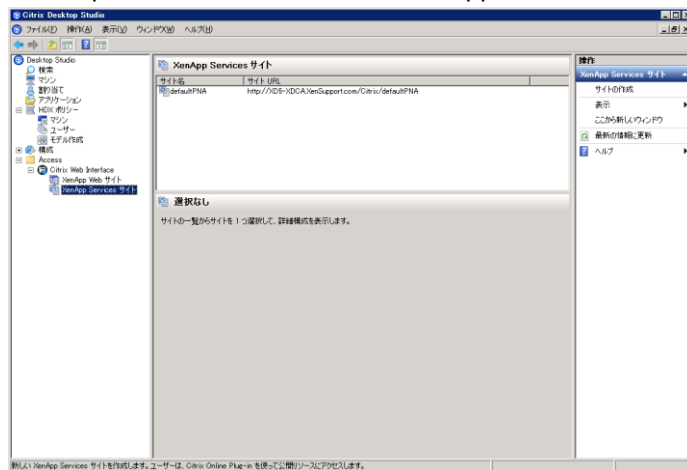
Desktop Studio の Access タブをクリックし、XenApp Services サイトをクリックします。

表示されている XenApp Services サイトを確認します。

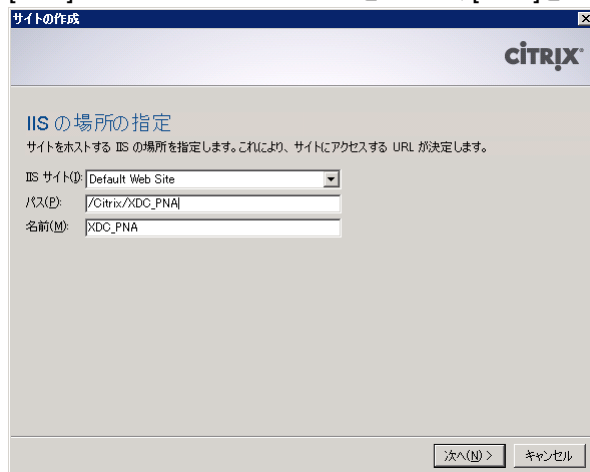
作成済みの Services サイトに XdcPNA をインストールする場合は、Services サイトを作成する必要はありません。[7.2.4]節に進んでください。

XdcPNA をインストールする Services サイトを新規作成する場合は以下の手順で作成します。

1. Desktop Studio に表示されている XenApp Services サイトから[サイトの作成]をクリックします。



2. [サイトの作成 – IIS の場所の指定]画面が表示されます。
[パス]に Services サイトのパスを入力し、[次へ]をクリックしてください。



※パスを入力すると[名前]は自動で入力されるので入力の必要はありません。

3. [サイトの作成 – 新しいサイトの設定の確認]画面が表示されます。
設定内容を確認して[次へ]をクリックしてください。

サイトの作成

CITRIX

新しいサイトの設定の確認

作成するサイトの概要を確認します。サイトの設定を変更するには、[戻る] をクリックします。サイトを作成するには、[次へ] をクリックします。

サイトの種類
XenApp Services

サイト名
XDC_PNA

インターネット インフォメーション サービス(IIS) サイト
Default Web Site

IIS サイトのデフォルトのページ
default

サイト URL の例
http://XDC_PNA.XenDesktop.com/Citrix/XDC_PNA/

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4. [サイトの作成 – サイトの作成]画面が表示されます。
[すぐにこのサイトを構成する]にチェックボックスが入っていることを確認して、[次へ]をクリックしてください。

サイトの作成

CITRIX

サイトの作成

サイトが作成されました。

サイトをすぐに構成できます。サイトをすぐに構成しない場合は、デフォルトの構成が適用されます。

☒ すぐにこのサイトを構成する(C)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

5. [初期構成の指定 – サーバーファームの指定]画面が表示されます。
[追加]をクリックしてください。

初期構成の指定 – XenDesktopConnector

CITRIX

サーバーファームの指定

Web Interface がユーザーにリソースを表示するサーバーファームの詳細を指定します。サーバーファームの管理タスクを使用して初期構成を実行したあとに、設定を更新できます。

ファーム名(M): Farm1

サーバー(フェイルオーバー用)(S):

上に移す(U)

下に移す(D)

追加(A)... 編集(E)... 削除(D)

XML Service ポート(P): 80

トランスポート タイプ(T): HTTP

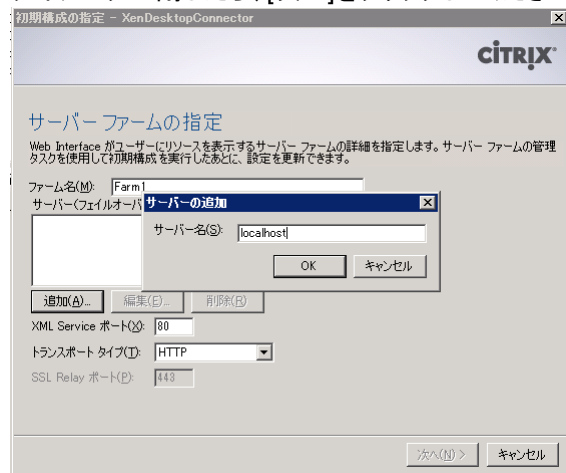
SSL Relay ポート(P): 443

次へ(N) > キャンセル

6. [サーバーの追加]ダイアログが表示されます。

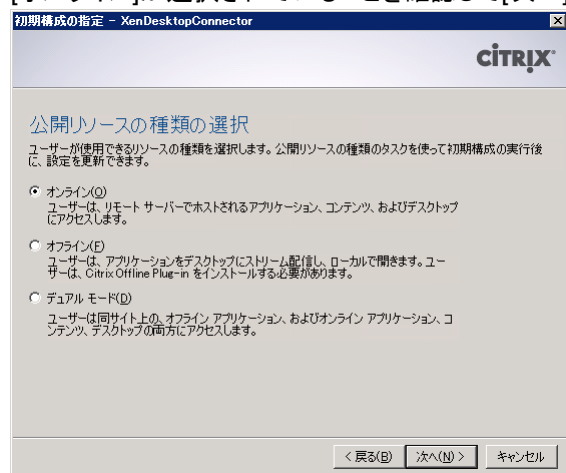
[サーバー名]に Controller がインストールされているサーバーのホスト名を入力して[OK]をクリックしてください。

ダイアログが閉じたら、[次へ]をクリックしてください。

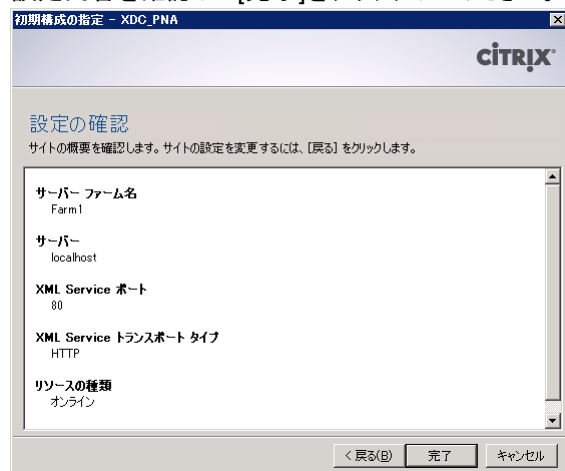


7. [初期構成の指定 - 公開リソースの種類を選択]画面が表示されます。

[オンライン]が選択されていることを確認して[次へ]をクリックしてください。



8. [初期構成の指定 - 設定の確認]画面が表示されます。
設定内容を確認して[完了]をクリックしてください。



次は XdcPNAforMobile をインストールする Services サイトの作成方法について記載します。
LifeTouch、iPhone、iPad をクライアント端末として利用しない場合は、XdcPNAforMobile のインストールは
必要ありません。[7.3]節に進んでください。
LifeTouch、iPhone、iPad のいずれかを利用する場合は[7.2.4]節に進んでください。

7.2.4. XdcPNAforMobile をインストールする Services サイトを作成する

Desktop Studio の Access タブをクリックし、XenApp Services サイトをクリックします。

表示されている XenApp Services サイトを確認します。

作成済みの Services サイトに XdcPNAforMobile をインストールする場合は[7.3]節に進んでください。

XdcPNAforMobile をインストールする Services サイトを新規作成する場合は以下のとおりです。

Services サイトの作成方法は[7.2.3]節に記載している手順と同じです。[7.2.3]節を参照してください。

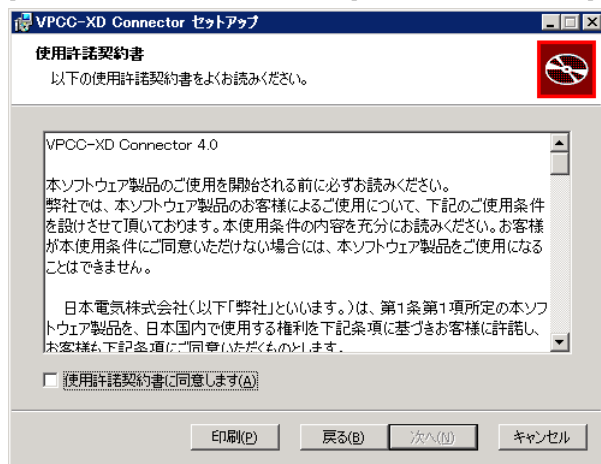
以上で VPCC-XD Connector をインストールする Web および Services サイトの作成は完了です。

7.3. VPCC-XD Connector をインストールする

1. **VPCC-XD_Connector.msi** をダブルクリックしてください。
Windows Server 2008 Service Pack 2 (32 ビット x86)にインストールする場合は、x86 フォルダ内の VPCC-XD_Connector32.msi をダブルクリックしてください。
2. [VPCC-XD Connector セットアップ]ウィザードが起動します。
[次へ]をクリックします。



3. [VPCC-XD Connector 使用許諾契約書]画面が表示されます。
[使用許諾契約書に同意します]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



4. [VPCC-XD Connector セットアップ – カスタム セットアップ]画面が表示されます。
 DesktopWeb を選択して参照をクリックし、XdcWI のインストール先を指定してください。※¹
 PNAgent を選択して参照をクリックし、XdcPNA のインストール先を指定してください。※¹
 XdcPNAforMobile をインストールする際は以下のとおりです。
 PNAgent for Mobile のアイコンをクリックし、[ローカルハードドライブにインストール]を選択してください。
 参照をクリックし、XdcPNAforMobile のインストール先を指定してください。※¹
 すべてのインストール先の指定が完了したら[次へ]をクリックします。



※¹ インストール先は[7.2.]節で作成した Web サイトおよび Services サイトがインストールされているフォルダを指定してください。

例) c:\inetpub\wwwroot\citrix\DesktopWeb

5. [VPCC-XD Connector セットアップ – VPCC-XD Connector のインストール準備完了]画面が表示されます。
 [インストール]をクリックします。



6. しばらくするとインストールが完了します。
[完了]をクリックします。



以上で VPCC-XD Connector のインストールは完了です。
次に、VPCC-XD Connector の初期設定について記載します。

7.4. VPCC-XD Connector の初期設定

1. XdcWI の初期設定

- ・ xdc.conf の設定
 - xdc.conf の初期設定を行ないます。
 - xdc.conf は以下のフォルダに格納されています。
 - <XdcWI をインストールしたフォルダ>%conf%
 - xdc.conf をメモ帳などのテキストエディタで開いてください。
 - xdc.conf の各パラメータを下記のとおり設定してください。

パラメータ名	説明	例 初期値
targetCMO	接続先CMOのIPアドレスまたはホスト名を設定します。 IPアドレスを設定する場合は、DNSもしくはhostsファイルで接続先CMOの逆引き設定を行ってください。	targetCMO=192.168.1.1 targetCMO=127.0.0.1
portNoCMO	接続先CMOのポートNo.を設定します。 CMOでの初期値は24577です。	portNoCMO=24577 portNoCMO=24577
ControllerCount	接続するControllerの台数です。 1で固定になります。 1以外に変更しないでください。	ControllerCount=1 ControllerCount=1
ControllerAddress0	接続するControllerのIPアドレスとポートです。 ControllerとWeb Interfaceは同じサーバーにインストールする必要があるため、localhostを指定する必要があります。 初期値から変更しないでください。	ControllerAddress0=127.0.0.1:80 ControllerAddress0=127.0.0.1:80
ControllerStatus0	登録しているControllerのステータスです。 Normalで固定になります。 Normal以外に変更しないでください。	ControllerStatus0=Normal ControllerStatus0=Normal
autoLaunch	VPCC-XD Connector自動接続機能の有効、無効を設定します。 VPCC-XD Connector自動接続機能を利用する場合は、trueを設定し、下記WebInterface.confのAutoLaunchDesktopにOnを設定してください。 利用しない場合は、本パラメータにfalseを設定し、WebInterface.confのAutoLaunchDesktopにOffを設定してください。	autoLaunch=true autoLaunch=false

※注意

上記表に記載していないパラメータについては、「VPCC 4.2 + XenDesktop 5.6 Feature Pack 1 VPCC+XD (CMO 連携あり) 運用ガイド」を参照してください。

- ・ WebInterface.conf の設定
 - VPCC-XD Connector 自動接続機能を利用する場合には下記パラメータを設定してください。
 - AutoLaunchDesktop=On

2. XdcPNA、XdcPNAforMobile の初期設定

- ・ xdc.conf の設定
 - xdc.conf の初期設定を行ないます。
 - xdc.conf は以下のフォルダに格納されています。
 - <XdcPNA (XdcPNAforMobile)をインストールしたフォルダ>%conf%
 - xdc.conf をメモ帳などのテキストエディタで開いてください。
 - xdc.conf の各パラメータを下記のとおりに設定してください。

パラメータ名	説明	例 初期値
targetCMO	接続先CMOのIPアドレスまたはホスト名を設定します。 IPアドレスを設定する場合は、DNSもしくはhostsファイルで接続先CMOの逆引き設定を行ってください。	targetCMO=192.168.1.1 targetCMO=127.0.0.1
portNoCMO	接続先CMOのポートNo.を設定します。 CMOでの初期値は24577です。	tportNoCMO=24577 tportNoCMO=24577
ControllerCount	接続するControllerの台数です。 1で固定になります。 1以外に変更しないでください。	ControllerCount=1 ControllerCount=1
ControllerAddress0	接続するControllerのIPアドレスとポートです。 ControllerとWeb Interfaceは同じサーバーにインストールする必要があるため、localhostを指定する必要があります。 初期値から変更しないでください。	ControllerAddress0=127.0.0.1:80 ControllerAddress0=127.0.0.1:80
ControllerStatus0	登録しているControllerのステータスです。 Normalで固定になります。 Normal以外に変更しないでください。	ControllerStatus0=Normal ControllerStatus0=Normal

7.5. XenDesktop 5.5 から 5.6 へのアップグレード時の再インストール

XenDesktop 5.5 に VPCC-XD Connector をインストールした状態で、XenDesktop 5.5 から XenDesktop 5.6 Feature Pack 1 へのアップグレードを行った場合、VPCC-XD Connector を再インストールする必要があります。

Windows のコントロールパネルの[プログラムの追加と削除]もしくは[プログラムのアンインストール]で、“VPCC-XD Connector”を選択しアンインストールを行った後、再度、VPCC-XD Connector をインストールしてください。

再インストール時の手順は、新規インストール時の手順と同じです。

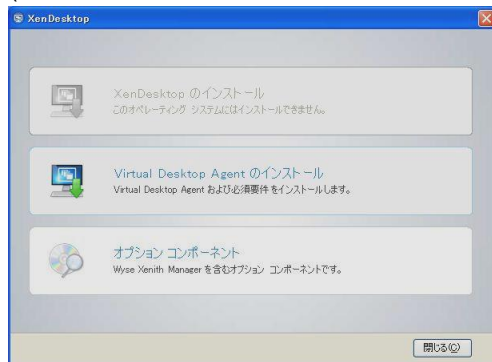
詳細については、「7.2 VPCC-XD Connector をインストールする Web サイトを準備する」から「7.4 VPCC-XD Connector の初期設定」を参照してください。

8. 仮想デスクトップコンポーネントのインストール

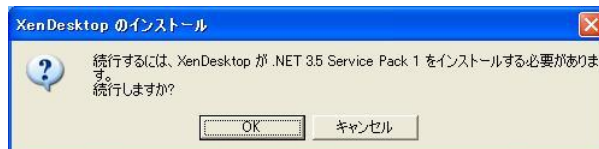
本章では、仮想デスクトップとして公開するために必要なコンポーネントのインストール手順を紹介します。
以下の手順は、仮想デスクトップとして利用する仮想 OS で行ってください。

1. 仮想デスクトップにログオンし、あらかじめダウンロードした iso ファイルをマウントするか、XenDesktop コンポーネントのインストールメディアを DVD ドライブに挿入し、[Virtual Desktop Agent のインストール] を選択します。

(画面が表示されるまでに、時間を要する場合があります。)



仮想デスクトップに、.NET 3.5 Service Pack 1 がインストールされていない場合は、上図の画面が表示される前に、.NET 3.5 Service Pack 1 のインストールするよう、下図メッセージが表示されます。
[OK]を選択して、メッセージに従い.NET 3.5 Service Pack 1 をインストールしてください。
.NET 3.5 Service Pack 1 インストール後、しばらくすると上図が表示されます。



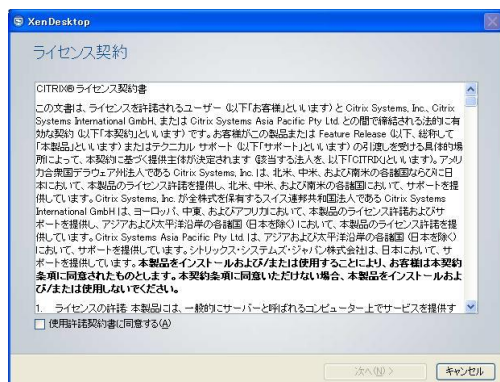
2. [カスタムインストール]を選択します。



3. Windows リモート管理(WinRM)をインストールしていない場合は、インストールされていない旨のメッセージが表示されます。[続行]を選択します。



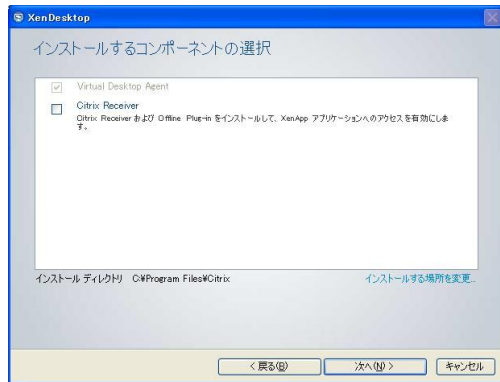
4. 「ライセンス契約」画面が表示されます。
[使用許諾契約書に同意する]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします



5. 「インストールする XenDesktop Agent の選択」画面が表示されます。
[Virtual Desktop Agent]を選択し、[次へ]をクリックします。



6. 「インストールするコンポーネントの選択」画面が表示されます。
Offline Plug-in をインストールして、XenApp アプリケーションへのアクセスを有効にしない場合は、「Citrix Receiver」のチェックを外し、[次へ]をクリックします。デフォルトではチェックが入っています。



7. 「Personal vDisk 構成」画面が表示されます。
「いいえ、Personal vDisk をすぐには構成しません」にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



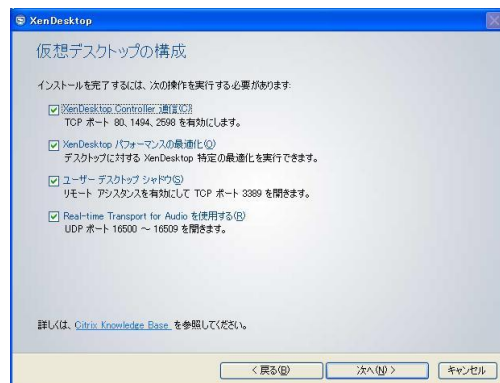
8. 「コントローラーの場所」画面が表示されます。
「コントローラーの場所を手動で入力する」にチェックを入れ、コントローラーのホスト名を入力します。
[次へ]をクリックします。



入力後、「チェック」を選択すると、正しく入力されている場合は以下のように表示されます。



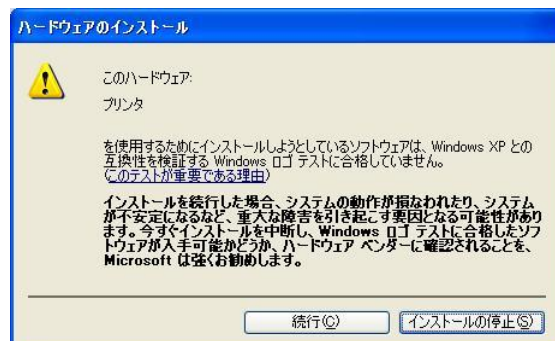
9. 「仮想デスクトップの構成」画面が表示されます。
デフォルトのチェックのまま、[次へ]をクリックします。



10. [インストール]をクリックします。



インストールの途中に、下記のメッセージが表示された場合は[続行]をクリックします。



11. インストール完了画面が表示されます。

「マシンを再起動する(インストールを完了させるために必要です)」にチェックが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックして仮想デスクトップを再起動します。



以上で、仮想デスクトップコンポーネントのインストールは完了です。

上記手順により仮想デスクトップコンポーネントをインストールした仮想デスクトップは、SigmaSystemCenterを用いてテンプレート化しておくことで、以後の仮想PC展開を容易にできます。テンプレート化の手順に関しては以下のドキュメントを参照ください。

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.2 運用操作手順書」

9. Desktop Studio の管理

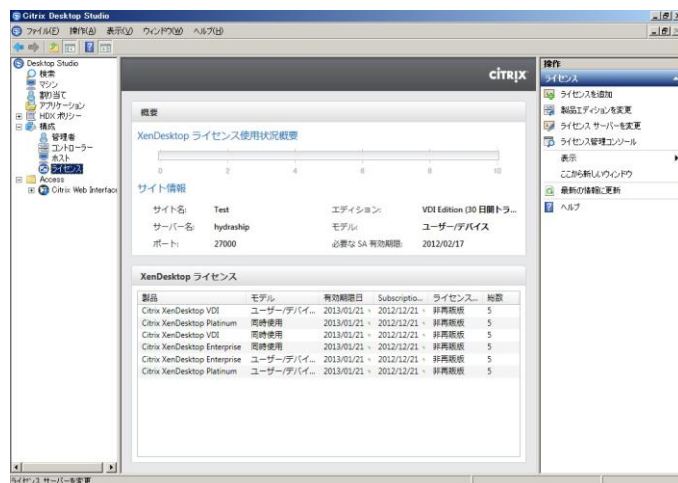
本章では、Desktop Studio で仮想デスクトップを管理するための、ライセンスサーバーの変更、管理者の追加についての手順を記載します。

(以下の手順は「6 Controller の初期設定」からの継続で設定します。)

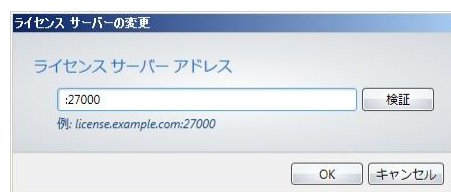
9.1. ライセンスサーバーの変更

ライセンスサーバーを変更する手順について記載します。

1. Desktop Studio の左ペインから[構成] → [ライセンス]を選択し、右ペインから[ライセンスサーバーを変更]をクリックします。



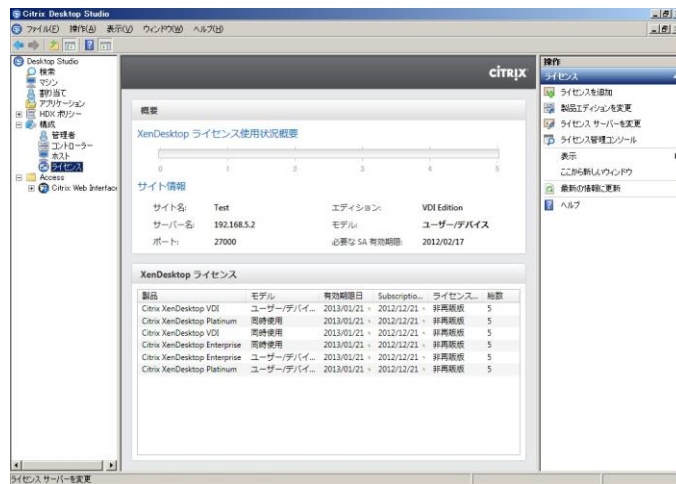
2. [ライセンス サーバーの変更]画面が表示されます。
変更するライセンスサーバーのアドレスを入力し、[検証]をクリックします。



入力したアドレスが問題なければ、以下の画面が表示されます。
[OK]をクリックします。



3. 中央ペインの[概要]にて、ライセンスサーバーが変更されていることを確認します。



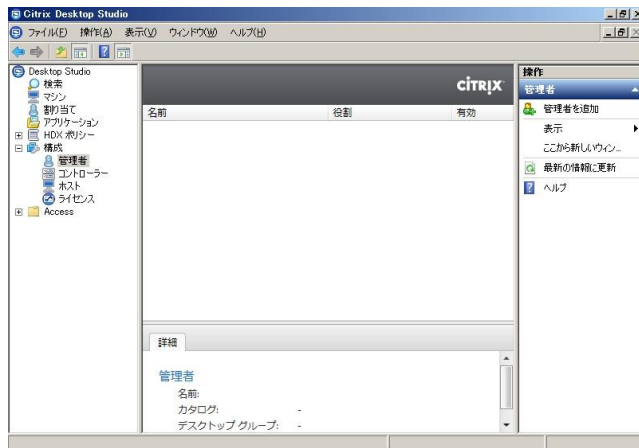
以上で、ライセンスサーバーの変更は完了です。

9.2. 管理者の追加

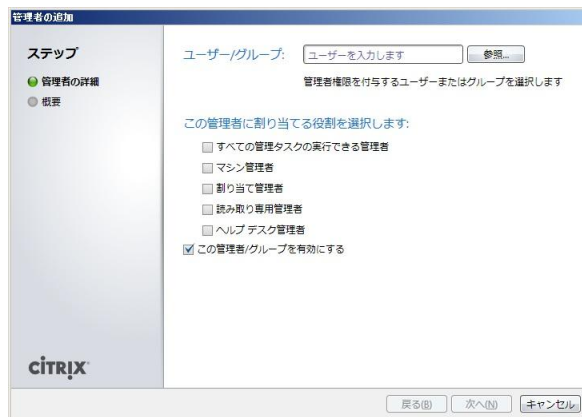
管理者を追加する手順を記載します。

デフォルトではインストールユーザーのみが登録されますので、必要に応じて管理者のユーザー／グループを追加してください。

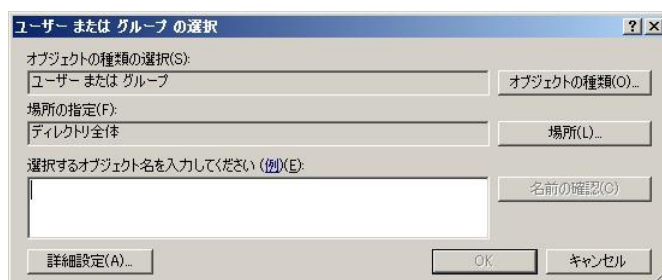
1. Desktop Studio の左ペインから[構成] - [管理者]を選択し、右ペインから[管理者を追加]をクリックします。



2. [管理者の追加 - 管理者の詳細]画面が表示されます。



- 2-1. [ユーザーまたはグループの選択]から、追加するユーザーまたはグループを指定して[OK]をクリックします。



- 2-2. [この管理者に割り当てる役割を選択します]から、追加するユーザー/グループの権限を選択します。
追加するユーザー/グループを有効にする場合は、[この管理者/グループを有効にする]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

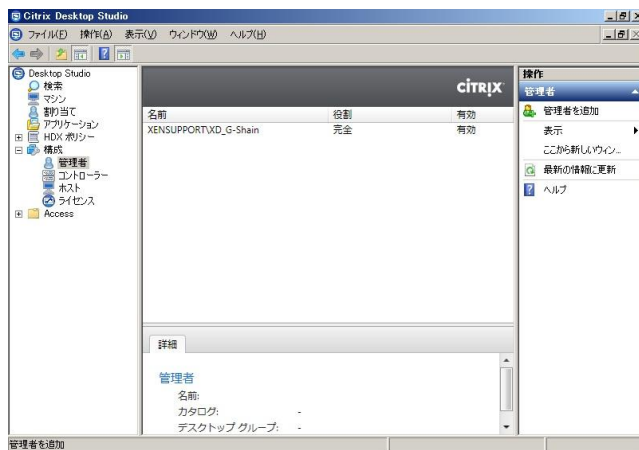
この管理者に割り当てる役割を選択します:

- ☒ すべての管理タスクの実行できる管理者
☐ マシン管理者
☐ 割り当て管理者
☐ 読み取り専用管理者
☐ ヘルプ デスク管理者
☒ この管理者/グループを有効にする

3. [管理者の追加 - 概要]画面が表示されます。
[完了]をクリックします。



4. Desktop Studio の中央ペインにて、追加したユーザー/グループが表示されていることを確認します。



以上で、管理者の追加は完了です。

10. セットアップ完了後の操作

10.1. フェイルオーバーポリシーの設定について

XenDesktop では、クライアント端末から仮想デスクトップのシャットダウン／再起動などの電源操作を行なうことができます。

XenDesktop コンポーネント側で仮想デスクトップの電源操作を行なった場合、SSC 側でそのステータス変更を自動検知するのに多少タイムラグがあり、“SSC コンソール上の仮想デスクトップの電源ステータス”と、“実際の仮想デスクトップの電源ステータス”に不一致が生じる場合があります。

このため、XenDesktop のセットアップが完了後、以下の操作を実施してください。

【SSC でのフェイルオーバーポリシーの設定】

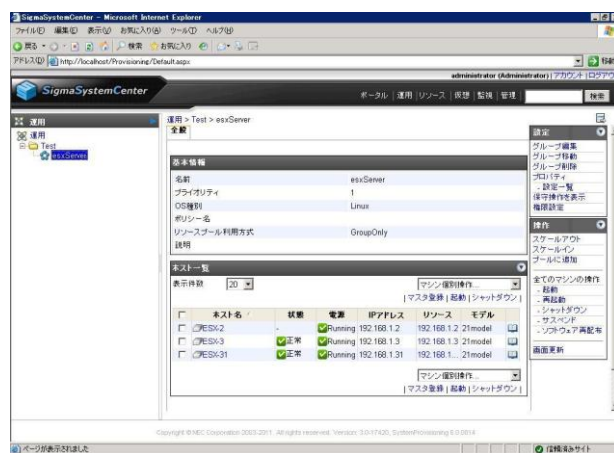
SSC にて、対象の ESX に設定しているポリシーのイベントに対する対応処置を変更します。

イベントに対する復旧処置として「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Migration)」もしくは「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Failover)」、「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Migration, Failover)」と設定しているものを、運用に応じて「VMS 操作／全 VM を移動(Failover)」、「VMS 操作／全 VM を移動(Migration)」、「VMS 操作／全 VM を移動(Migration/ Failover)」、「VMS 操作／全 VM を移動(Quick Migration/ Failover)」のいずれかに変更してください。

「稼働中の VM を移動」のアクションでは、上述の“SSC コンソール上の仮想デスクトップの電源ステータス”と、“実際の仮想デスクトップの電源ステータス”に不一致が発生している場合、フェイルオーバーされない VM が生じる可能性があります。

手順は以下のとおりです。(例: ポリシー「ターゲットアクセス不可」の設定変更)

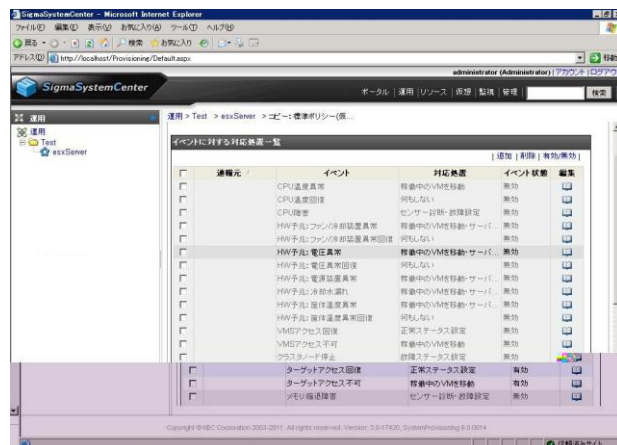
1. SSC の[運用]ビューにて、対象の ESX が所属するグループを選択し、[プロパティ]を選択します。



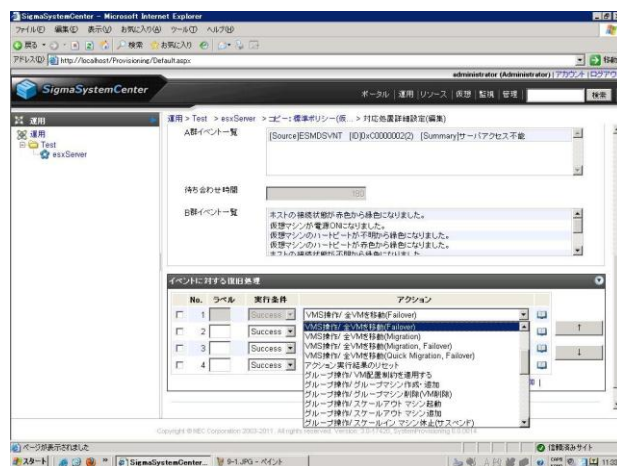
2. 「指定ポリシーを参照する」を選択します。



3. 「監視イベント」を選択し、イベントに対する対応処置一覧から「ターゲットアクセス不可」の編集を選択します。



4. イベントに対する復旧処理のアクションを、運用に応じて「VMS 操作／全 VM を移動(Failover)」、「VMS 操作／全 VM を移動(Hot Migration/ Cold Migration)」、「VMS 操作／全 VM を移動(Hot Migration/ Cold Migration, Failover)」のいずれかに変更してください。
変更後、適用を選択してください。



以上で、SSC でのフェイルオーバーポリシーの設定の変更は完了です。

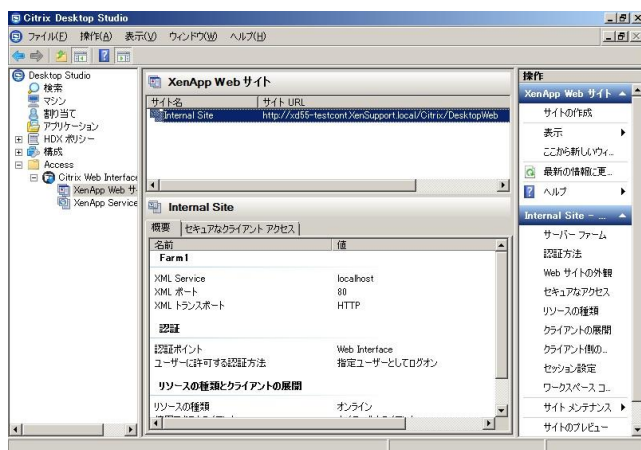
上記の手順と同様に、イベントに対する対応処置に「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Migration)」もしくは「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Failover)」、「VMS 操作／稼働中の VM を移動(Migration, Failover)」を設定している場合は「VMS 操作／**全 VM を移動**(Failover)」、「VMS 操作／**全 VM を移動**(Migration)」、「VMS 操作／**全 VM を移動**(Migration/ Failover)」、「VMS 操作／**全 VM を移動**(Quick Migration/ Failover)」のいずれかに変更してください。

11. Web Interface の設定

Web Interface のセッションのタイムアウト時間がデフォルトで 20 分に設定されているため、任意のタイムアウト時間に設定する必要があります。

ここでは、セッションのタイムアウトを設定する手順を紹介します。

1. Desktop Studio にて、[Access]→[Citrix Web Interface]→[XenApp Web サイト]を選択します。
XenApp Web サイトの Internal Site を選択し、[セッション設定] をクリックします。



2. 「セッション設定の管理-Internal Site」画面が表示されます。
[全般] の [Web セッション] を選択し、任意の時間を設定し、[OK] をクリックします。



以上で、Web Interface のセッションタイムアウト時間の設定は完了です。
その他、必要に応じて設定を行なってください。

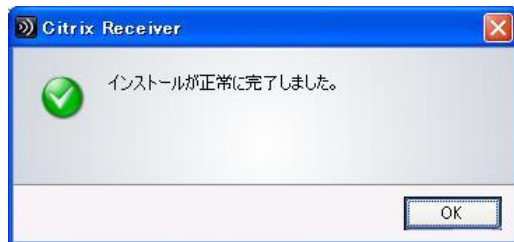
12. クライアントから仮想デスクトップに接続する

本章では、クライアントでの Citrix Receiver のインストールと仮想デスクトップへの接続方法について記載します。

1. XenDesktop コンポーネントのインストールメディアを DVD ドライブに挿入し、Citrix Receiver and Plug-ins¥Windows¥Receiver を開きます
CitrixReceiver.exe を実行すると、インストールが始まり進行状況が表示されます。



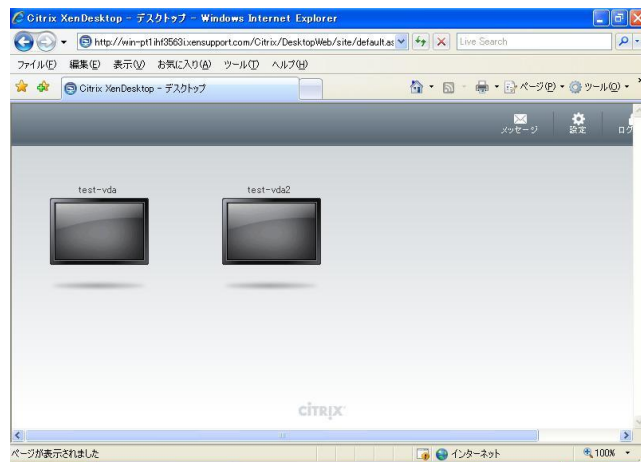
2. Citrix Receiver のインストールが完了しました。
[OK] をクリックします。



3. クライアントにて、Internet Explorer を起動し、以下の URL を入力して、Web Interface に接続します。
<http://Web Interface のホスト名または IP アドレス/>
[Citrix XenDesktop- ログオン]画面が表示されます。
仮想デスクトップに接続するユーザー名・パスワード・ドメイン名を入力し、[ログオン] をクリックします。



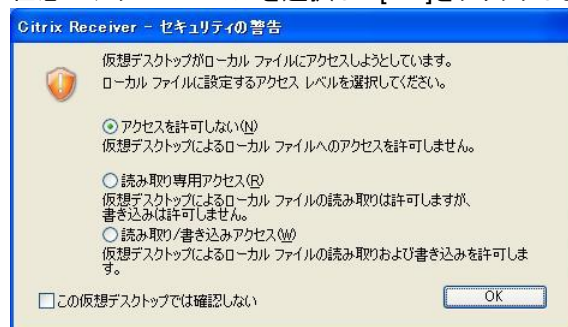
4. 接続する仮想デスクトップのアイコンをクリックします。



5. 仮想デスクトップが起動することを確認します。



6. 仮想デスクトップの起動時、もしくは仮想デスクトップからクライアントのローカルファイルにアクセスする際、アクセスレベルを選択する「Citrix Receiver – セキュリティの警告」画面が表示されます。任意のアクセスレベルを選択して[OK]をクリックします。



以上で、クライアント上での Citrix Receiver のインストールとクライアントからの仮想デスクトップへの接続は完了です。

13. 制限事項

13.1. 参考情報

VPCC 環境に XenDesktop を導入するにあたり、XenDesktop に特化して VPCC 側に変更が必要な点について記載します。

SSC のフェイルオーバーポリシーには、「全 VM 移動」を使用する

→クライアント端末からの仮想デスクトップのシャットダウン／再起動など、XenDesktop コンポーネント側で仮想デスクトップの電源操作を行った場合、SSC 側ではそのステータス変更を自動検知するのに多少タイムラグがあります。

このため、SSC コンソール上の仮想デスクトップの電源ステータスと、実際の仮想デスクトップの電源ステータスに不一致が発生する場合があります。

この影響により、「稼働中の VM 移動」のアクションではフェイルオーバーされない VM が生じる可能性があります。

これを防ぐため、フェイルオーバーポリシーでは「全 VM 移動」を使用することを推奨致します。

詳細は、「10 セットアップ完了後の操作」を参照ください。

— 以上 —